canopus

セットアップマニュアル

canopus

セットアップの流れ

セットアップは次の流れで進みます。

1 確　認（7ページ）

- ご使用の前に（2ページ）
- パソコンを2台お持ちのお客様へ（6ページ）
- パッケージ内容の確認（10ページ）
- 動作環境の確認（12ページ）

2 接　続（15ページ）

必須 ボードの取り付け（20ページ）

↓

必須 アンテナの接続（23ページ）

↓

必須 オーディオケーブルの接続（24ページ）

↓

任意 映像機器の接続（25ページ）

映像機器から映像を入力しない場合は、映像機器の接続は必要ありません。

3 インストール（29ページ）

インストールを始める（32ページ）

- ドライバ 必須
- FEATHER2005 必須
- CiRAgent 任意
- NeroVision Express 3 必須

↓

任意 FEATHER2005のオプションソフト（42ページ）

↓

任意 インストール後の設定（44ページ）

MTVX-SHF
セットアップマニュアル

MTVX-SHF
セットアップマニュアル
June 15, 2005

ご使用の前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。
注意	けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味

	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。
	この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

警告

●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。

注意

●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問合せいただいてお確かめください。

●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。

また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。

●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金

属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。
動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

注 意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
(3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
(4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
(6) 本製品付属のソフトウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
(7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
(8) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの商標または登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。
(9) iEPGおよびiEPGロゴは、ソニー株式会社の商標です。
(10) AdobeおよびAdobe Readerは、アドビシステムズ社の商標です。

表記について

■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
■ 本書ではMicrosoft® Windows®XP operating systemをWindows XP(Home EditionおよびProfessionalの総称)と表記します。
■ 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。

個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせします。
当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはございません。

(1) ご利用の当社製品のサポートの実施
　＊守秘義務を負う業務委託先に個人情報を提供することがあります。
(2) 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
　＊調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供します。
(3) 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
(4) ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
(5) 懸賞企画等で当選された方やお客様への商品の発送
　＊お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問合せは
　http://www.canopus.co.jp/info/までご連絡ください。

サポートについて

● ご使用方法や、このマニュアルについて不明な点、疑問点などがございましたらカノープス株式会社テクニカルサポートまでお問合せください。
■ お問合せの前には必ず以下の内容をご準備の上、お問合せください

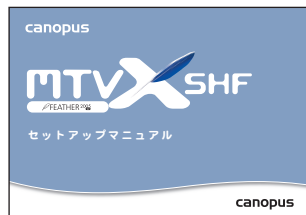
(1) ご使用になっておられるPCの名称型番
　・メーカー製の場合→メーカー名と型番
　・自作、オーダーメイドの場合→マザーボード型番、CPU、チップセット、サウンドボード、グラフィックボード
(2) オペレーティングシステム(Windowsなど)のバージョン
(3) ハードディスクの容量、メモリの容量
(4) 他に取り付けられている拡張ボードのメーカー名と製品名
(5) 周辺機器があればそのメーカー名と製品名
(6) 他に併用している当社製品があれば製品名とバージョン番号

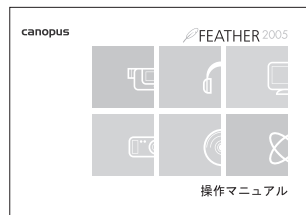
■ Webからのお問合せ
　・よくあるお問合せ(http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm)をまずご確認ください。
　・よくあるお問合せで対応策が見つからなかった場合、ご購入後のお問合せ(http://www.canopus.co.jp/tech/contact2.htm)をご覧ください。
■ お電話でのお問合せ
　テクニカルサポート
　TEL. 078-992-6830
　　(10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00)
　※土、日、祝日および当社指定休日を除く

もくじ

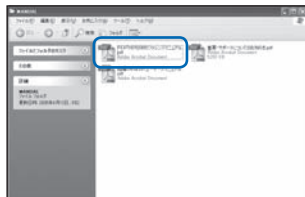
本製品のマニュアル構成

本製品には3種類のマニュアルが付属しています。

■MTVX-SHFセットアップマニュアル(本書)

本製品のセットアップ方法を説明しています。本製品を初めてお使いになるときは、まずこのマニュアルをお読みください。

■FEATHER2005 V2操作マニュアル(別冊)

本製品を使った基本的な活用方法を説明しています。主な内容は次の通りです。

・テレビ番組の視聴・録画
・映像/写真/音楽の再生
・音楽CD/DVDビデオの再生・作成

■FEATHER2005リファレンスマニュアル(PDF形式)

本製品の機能をもっと詳しく知りたい場合にお読みください。このマニュアルを見るには、CD-ROM内の[Manual]フォルダにある[FEATHER2005リファレンスマニュアル.pdf]を実行してください。

PDFをご覧になるには

PDFをご覧になるには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、CD-ROMの[TOOLS]フォルダ→[AdobeReader]フォルダから、[AdbeRdr60_jpn_full.exe]を実行してください。Adobe Readerがインストールされます。

パソコンを2台お持ちのお客様へ

制限事項

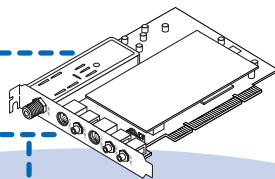
・ネットワーククライアント用ライセンスキーでインストールしたFEATHER2005は、一部機能が制限されます。詳しくは、61ページを参照してください。

Networkモードを使う場合、2台のパソコンが同一ネットワーク上で接続されている必要があります。

本製品はFEATHER2005のライセンスを2つ用意しています。お客様がパソコンを2台お持ちであれば、2台のパソコンにFEATHER2005をインストールできます。

・キャプチャボード本体を取り付けたパソコン	**⇒製品のシリアルナンバーでインストール**
・キャプチャボード本体を取り付けていないパソコン	**⇒ネットワーククライアント用ライセンスキーでインストール**

Networkモードでさらに便利に！

FEATHER2005のNetworkモードを使うと、2台のパソコン間で連携して次のような便利な機能を活用できます。

第1章

本製品のご使用前に確認していただきたいこと、および本製品の動作環境について説明しています。

確　認

1 はじめに

この章では、本製品のご使用前に確認していただきたい事項を説明しています。

使用許諾契約について

本製品をご使用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、インストールを中止して、下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。
このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がインストールを完了された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープス カスタマーサポート
〒651-2241　神戸市西区室谷1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛

サポートについて

CD-ROMの[Manual]フォルダに収録されている、「重要・サポートについてのお知らせ.pdf」(PDF形式)をご覧ください。

カノープス テクニカルサポート

078-992-6830

月曜～金曜
・10:00 ～ 12:00
・13:00 ～ 17:00
※土日祝日および当社指定休日を除く

PDFをご覧になるには

PDFをご覧になるには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、CD-ROMの[TOOLS]フォルダ→[AdobeReader]フォルダから、[AdbeRdr60_jpn_full.exe]を実行してください。Adobe Readerがインストールされます。

■NeroVision Express 3のサポートについて

カノープス株式会社 カスタマーサポートおよびテクニカルサポートでは、NeroVision Express 3のサポートを行っておりません。
60ページに記載されている窓口にて、サポートをお受けください。

ご使用にあたっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
製品本来の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。
CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。
本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送またはインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

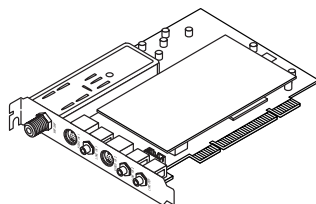
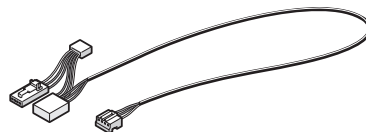
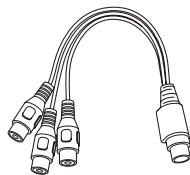
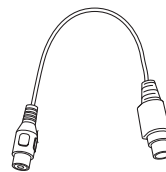
パッケージ内容の確認

本製品のパッケージ内容を確認してください。本製品の梱包には万全を期しておりますが、万一、不足しているものがありましたら下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープス カスタマーサポート

078-992-5846

月曜～金曜
・10:00 ～ 12:00
・13:00 ～ 17:00
※土日祝日および当社指定休日を除く

■本製品の同梱品

□キャプチャボード本体

□内部接続オーディオケーブル

□ミニDIN7ピン・コンポーネント変換ケーブル

□ミニDIN7ピン・コンポジット変換ケーブル

□CD-ROM
本製品をお使いいただくためのドライバおよびソフトウェアなどが収録されています。

□マニュアル
・セットアップマニュアル（本書）
・FEATHER2005 V2操作マニュアル（別冊）

□ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書・シリアルナンバーシール
本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください。当社よりご提供させていただいているサービスについてはCD-ROMの［Manual］フォルダに収録されている、「重要・サポートについてのお知らせ（PDF形式）」をご覧ください。
ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ（http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm）をご覧ください。
本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

オンラインユーザー登録について
お客様がインターネットへ接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただかなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。下記オンラインユーザー登録ページ（http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm）にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

ご登録いただけない場合には、一部サービスについてお受けいただけないものがございます。

PDFをご覧になるには
PDFをご覧になるには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、CD-ROMの［TOOLS］フォルダ→［AdobeReader］フォルダから、［AdbeRdr60_jpn_full.exe］を実行してください。Adobe Readerがインストールされます。

2 動作環境の確認

本製品のご使用前に、ご使用になるパソコン本体の環境を確認してください。

条件を満たしている場合でも、パソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。

ソフトウェアのライセンス

本製品のセットアップでインストールする各ソフトウェアの所有ライセンス数は、次のとおりです。

・FEATHER2005　：2ライセンス
・その他　　　　：1ライセンス

対応パソコン環境

CPU	Intel Pentium Ⅲ・4、Intel Celeron、AMD Athlon、AMD Duron ※Pentium Ⅲ 1GHz以上推奨
PCI	空きPCIバススロットが1つ必要(PCI Ver2.2以降)
CD-ROM	ソフトウェアのインストールに必要
メモリ	256MB以上
ハードディスク	UltraATA 66以上の転送速度を持ちNTFSファイルシステムでフォーマットされたもの ※UltraATA 100以上の転送速度を持つものを推奨
ディスプレイカード	MTVGAシリーズまたは、800×600ドット・HighColor以上の表示ができ、DirectDrawのオフスクリーンによるオーバーレイに対応したものが必要です。 ※リモコンEPGを使用する場合、1024×768以上が必要
サウンドシステム	WDMドライバで動作し、アナログライン入力を持つもの（48kHz出力に対応するもの） ※音声のミュートをコントロールする場合、本製品のモニタ出力を接続した端子が、ミキサーデバイスからミュートできる必要があります。
DirectX	DirectX9.0b以降 ※添付CD-ROMに収録
対応OS	Microsoft Windows XP Home Edition / Professional日本語版
インターネット接続環境	iEPG録画予約、ユーザー登録、ソフトウェアのアップデートなどに必要

当社ホームページについて

本製品をはじめとする当社の最新情報を当社ホームページ（http://www.canopus.co.jp/）にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル（PDF形式）、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスしていただき、快適なパソコン環境を実現してください。

制限事項について

■再生中の動作について

ハードディスクのシークなどによる音の途絶・画像のコマ落ちが発生する場合があります。再生時のパフォーマンスは、お使いのパソコン環境により異なります。

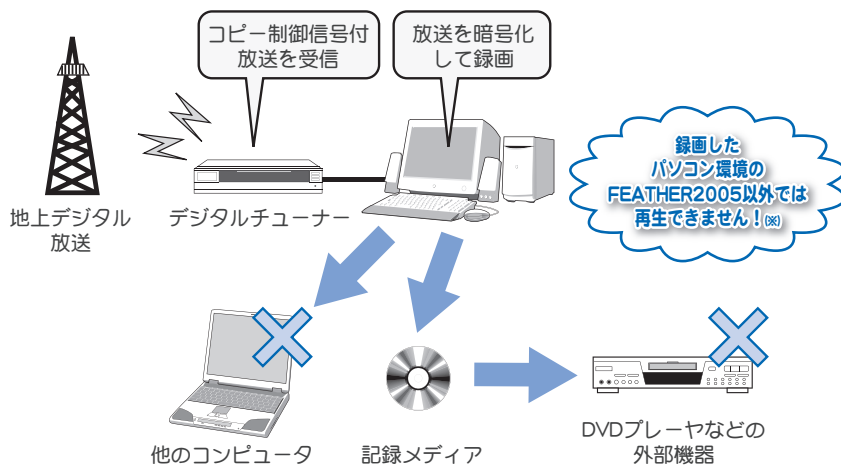
■本製品で録画できない映像

本製品は、DVD-Videoなどの著作権保護信号が入った映像を録画できません。

■本製品の複数台使用について

動作環境を満たすパソコンであっても、本製品を複数台使用しての多チャンネル録画については動作保証していません。

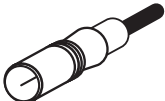
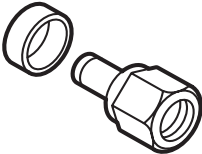
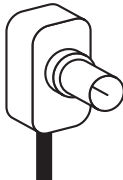
■コピーワンス信号付き映像の扱いについて

BS/地上デジタル放送には、著作権保護のために一回だけ録画が可能なコピー制御信号（コピーワンス信号）が埋め込まれています。
本製品では、コピーワンス信号を検出すると映像を暗号化して録画します（録画ファイルには、拡張子「m2d」が付きます）。
そのため、本製品で録画したファイルは、ファイルを録画したパソコン環境のFEATHER2005以外では再生できなくなります。（※）

※キャプチャボード本体を、パソコンに
　装着している必要があります。

この章では、本製品の接続方法を説明します。

接　続

1 接続を始める前に

セットアップ前の準備について説明しています。

接続に必要なもの

本製品のセットアップには以下のものが必要です。セットアップ前に準備してください。

・キャプチャボード本体
・CD-ROM
・テレビアンテナケーブル
・オーディオケーブル
・ミニDIN7ピン-コンポーネント変換ケーブル（映像機器と接続する場合のみ）
・ミニDIN7ピン-コンポジット変換ケーブル（映像機器と接続する場合のみ）
・Sビデオケーブル（映像機器と接続する場合のみ）
・コンポジットビデオケーブル（映像機器と接続する場合のみ）
・コンポーネントビデオケーブル（映像機器と接続する場合のみ）

アンテナケーブルと画質の関係

本製品にはテレビアンテナケーブルが付属していませんので、市販されている以下のような形状のコネクタがついたものを準備してください。

	アンテナ端子一体型ケーブル	F型コネクタプラグ	アンテナコンセントプラグ
画質の良さ	◎	○	△

分配器を使用して、アンテナ線を複数の機器に接続することも可能です。分配した配線の1本に、F型コネクタプラグを取り付け、キャプチャボード本体のTVアンテナ接続端子に接続します。ただし、分配によって信号が弱くなる場合などは、アンテナブースターが必要になることもあります。詳しくは、アンテナブースター購入時に販売店などでご確認ください。

整合器の詳細は、ご購入時に販売店などでご確認ください。

■TV用アンテナ線の接続

TV受信用アンテナの接続は、現在使用しているアンテナ線の種類によって、接続方法が変わります。以下の接続方法の中から、現在使用している環境に合った手順を見つけ、その手順に合わせて接続してください。

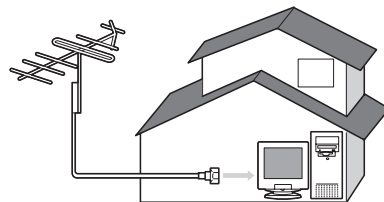
●壁面にアンテナ端子が付いている場合

F型コネクタプラグ付きアンテナケーブルを使用します。キャプチャボード本体のTVアンテナ接続端子にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。

●アンテナ線が１本の場合

アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、キャプチャボード本体のTVアンテナ接続端子に接続します。

●アンテナ線が２本の場合

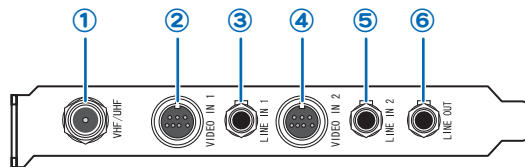
F型コネクタプラグの他に、U/V混合器が必要です。U/V混合器を取り付けてアンテナ線を1本にし、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、キャプチャボード本体のTVアンテナ接続端子に接続します。

●アンテナ線に平行フィーダ線を使用している場合

F型コネクタプラグの他に、整合器が必要です。整合器を使用してアンテナ線を同軸ケーブルに変更してください。

2 各部の名称と機能

キャプチャボード本体には以下の接続端子があります。

■キャプチャボード本体

①　②　③　④　⑤　⑥

①VHF/UHF（TVアンテナ接続端子）
　テレビ受信用F入力端子です。

②VIDEO IN 1（ビデオ入力端子1）
　ビデオ入力端子です。
　同梱の変換ケーブル（ミニDIN7ピン-コンポーネント変換ケーブルを使用して、コンポーネント入力、またはコンポジット入力ができます。Sビデオケーブルを使用して、Sビデオ入力をすることもできます。
　※VIDEO IN 1では、ミニDIN7ピン-コンポジット変換ケーブルを使用できません。

③LINE IN 1（オーディオ入力端子1）
　音声用のステレオミニジャック入力端子です。

④VIDEO IN 2（ビデオ入力端子2）
　ビデオ入力端子です。
　同梱の変換ケーブル（ミニDIN7ピン-コンポジット変換ケーブル）を使用して、コンポジット入力ができます。Sビデオケーブルを使用して、Sビデオ入力をすることもできます。
　※VIDEO IN 2では、ミニDIN7ピンコンポーネント変換ケーブルを使用できません。

⑤LINE IN 2（オーディオ入力端子2）
　音声用のステレオミニジャック入力端子です。

⑥LINE OUT（オーディオ出力端子）
　音声用のステレオミニジャック出力端子です。
　サウンドカードに接続する場合、この端子とサウンドボード側のライン入力端子とを接続します（サウンドカードとの内部接続を行っている場合は、何も接続しないでください）。

オーディオ入力端子の役割

オーディオ入力端子は、その色によって映像機器の入力元が異なります。映像機器の入力元は次のとおりです。

- 白：L（左）
- 赤：R（右）

3 接続する

それでは、実際に本製品を接続しましょう。

キャプチャボード本体をパソコンのPCIスロットへ取り付けます。

1 パソコンを終了する

パソコンを終了し、電源を切ります。

2 ケーブルを取り外す

パソコンから電源ケーブルなどのケーブル類を取り外します。

3 パソコンのカバーを取り外す

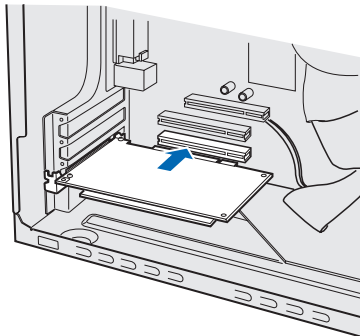
パソコンのカバーを取り外します。取り外し方法については、パソコン本体に付属のマニュアルをご覧ください。

4 PCIスロットのカバーを取り外す

ドライバーを使用してPCIスロットカバーを固定しているネジを取り外します。

⇒取り外したネジは手順7で使いますので、紛失しないようにしてください。取り外したスロットカバーは使用しませんので、紛失しないように保管してください。

ケーブル類を取り外す際は、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

5 キャプチャボード本体を取り付ける

キャプチャボード本体をパソコンのPCIスロットに取り付け、手順4で取り外したネジでキャプチャボード本体のスロットカバーを固定します。

※キャプチャボード本体の端子部分が見えなくなるまでしっかりと取り付けてください。

6 パソコンを元通りに戻す

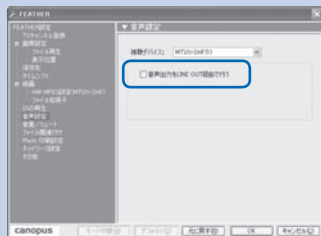
パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルなどのケーブル類を接続します。

他のボードのノイズの影響を可能な限り避けるために、他のボードと離れた位置（たとえば一番端にあるPCIスロット）に取り付けることをお勧めします。

取り付け時の注意事項

何かに引っかかってうまく取り付けることができない場合は、いったんキャプチャボード本体を取り外して、引っかかりの原因を確認してください。
どうしても何かに引っかかって取り付けできない場合は、パソコンに何らかの問題がある可能性があります。一度パソコンメーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。
なお、本製品のキャプチャボード本体は、PCIの規格によって正しく設計されています。

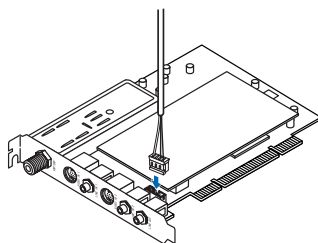
- スロットカバーとパソコンの背面パネルの間の隙間はできる限り作らないでください。スロットカバーとパソコンの背面パネルの間に隙間があると、受信信号にノイズが混入し、映像に縞が入るなどの影響がより大きくなる場合があります。
- 空きスロットおよびパソコン本体は、確実にカバーで閉じてください。

オーディオケーブルを使用し、内部もしくは外部接続をした場合は、「音声設定」画面で［音声出力をLINE OUT経由で行う］にチェックを入れてください。

内部接続ケーブルの接続方法を間違えないように気をつけてください。内部接続ケーブルの接続を間違えると、片側のスピーカーから音が出ない、左右の位相が入れ替わるなどの問題が発生します。

オーディオ入力端子の位置は、パソコンまたはマザーボードのマニュアルを参照してください。

本製品はパソコンに音声を出力するためのオーディオケーブルの接続は不要です。音声に問題がある場合には、オーディオケーブルでパソコン内部、または外部に接続してください。

内部で接続

キャプチャボード側

赤：右チャンネル（R）
白：左チャンネル（L）
黒：グラウンド（G）

キャプチャボード本体のオーディオ出力端子（内部接続用）に、内部接続オーディオケーブルを接続します。

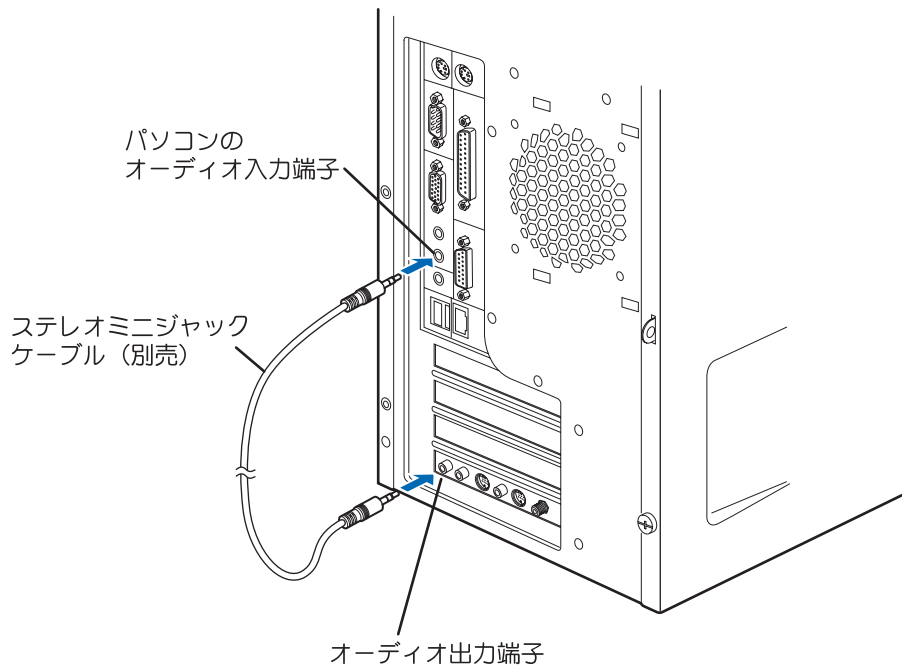
※接続時には、コネクタの形状、コード色に気をつけてください。一般的なサウンドボードでは、コネクタにR、L、Gなどと刻印されています。左図のように接続してください。

※オーディオケーブルの外部接続方法は、24ページを参照してください。

パソコン側

パソコンのマザーボード上にあるオーディオ入力端子に、キャプチャボードに接続したオーディオケーブルを接続します。

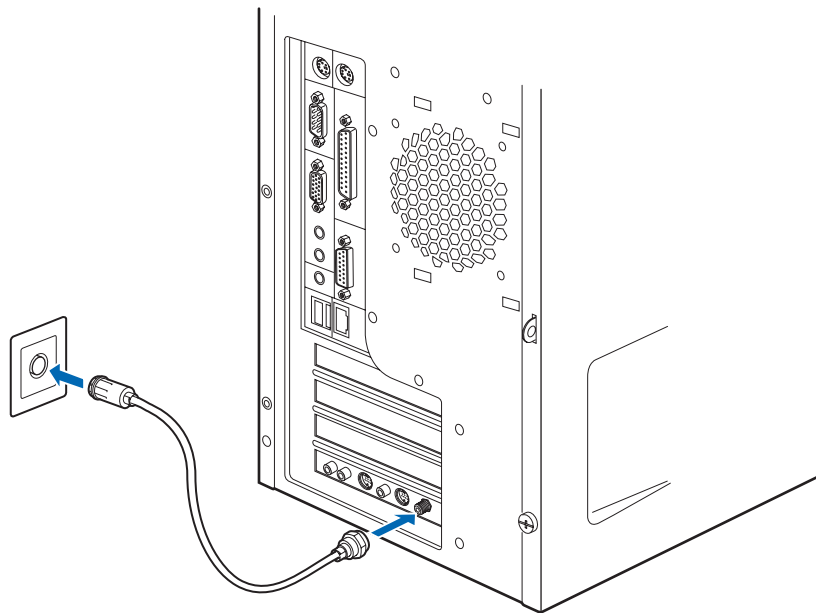
外部で接続

パソコンのオーディオ入力端子とキャプチャボード本体のオーディオ出力端子を、ステレオミニジャックケーブルで接続します。

それでも音声が出ない場合は

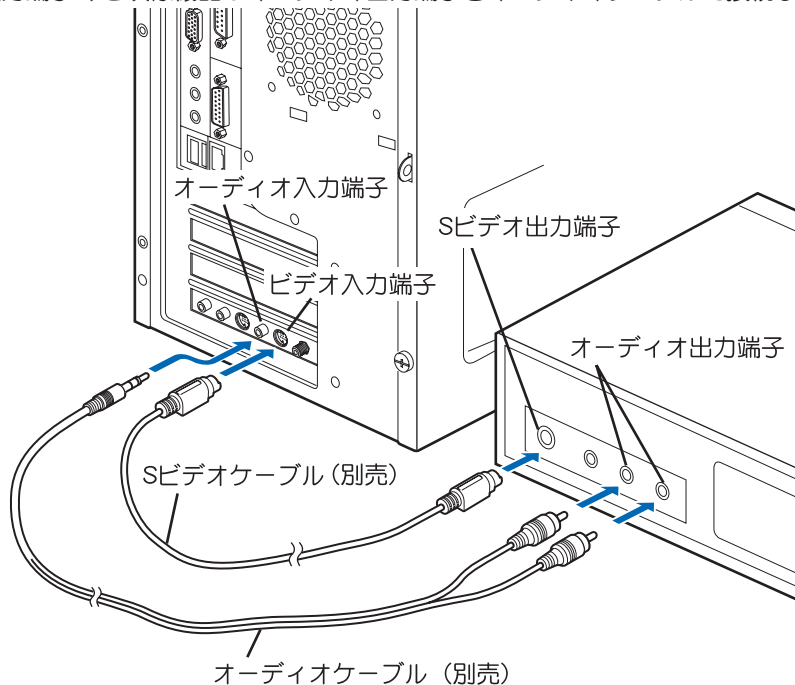
オーディオケーブルを接続したにもかかわらず、テレビ音声が出ない場合、Windowsの「コントロールパネル」画面にある「サウンドとオーディオデバイス」をダブルクリックして、オーディオケーブルの接続先であるサウンドカード（デバイス）の音量がミュートになっていないかを確認してください。

②TVアンテナと接続する

■TVアンテナ端子1つ使用の場合

キャプチャボード本体のTVアンテナ接続端子とTV受信用アンテナを、アンテナケーブルで接続します。

③映像機器と接続する

■映像機器のSビデオ出力端子との接続

(1)キャプチャボード本体のVIDEO IN 1（ビデオ入力端子1）またはVIDEO IN 2（ビデオ入力端子2)と映像機器のSビデオ出力端子をSビデオケーブルで接続します。
(2)キャプチャボード本体のLINE IN 1（オーディオ入力端子1）またはLINE IN 2（オーディオ入力端子2)と映像機器のオーディオ出力端子をオーディオケーブルで接続します。

映像を入力しないお客様へ

映像機器から映像を入力しない場合は、映像機器の接続は必要ありません。

入力端子はペアで使用

同じ映像機器から録画と録音を行う場合には、キャプチャボード本体のVIDEO IN 1（ビデオ入力端子1)とLINE IN 1（オーディオ入力端子1)、VIDEO IN 2（ビデオ入力端子2）とLINE IN 2（オーディオ入力端子2）はペアで使用してください。

映像を入力しないお客様へ

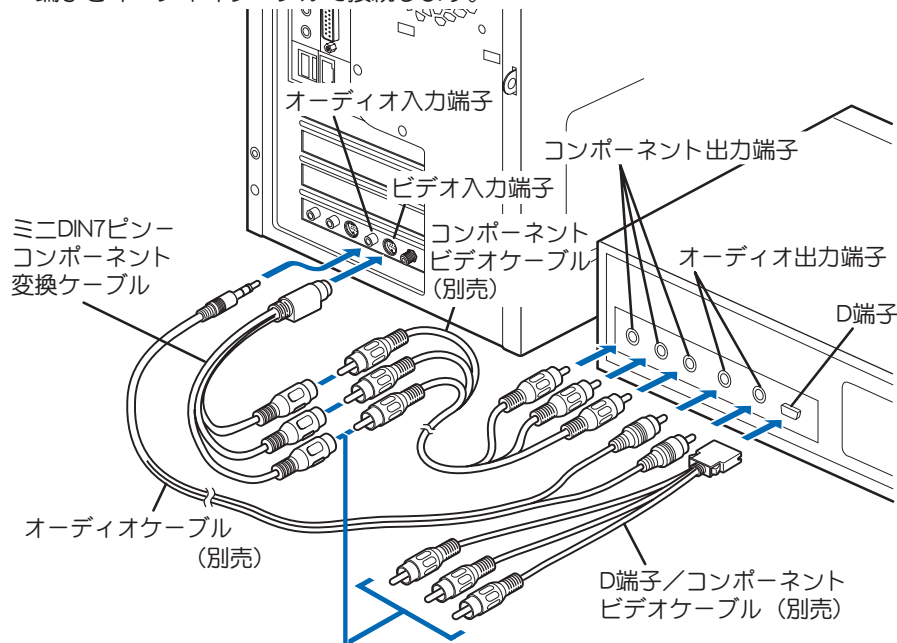
映像機器から映像を入力しない場合は、映像機器の接続は必要ありません。

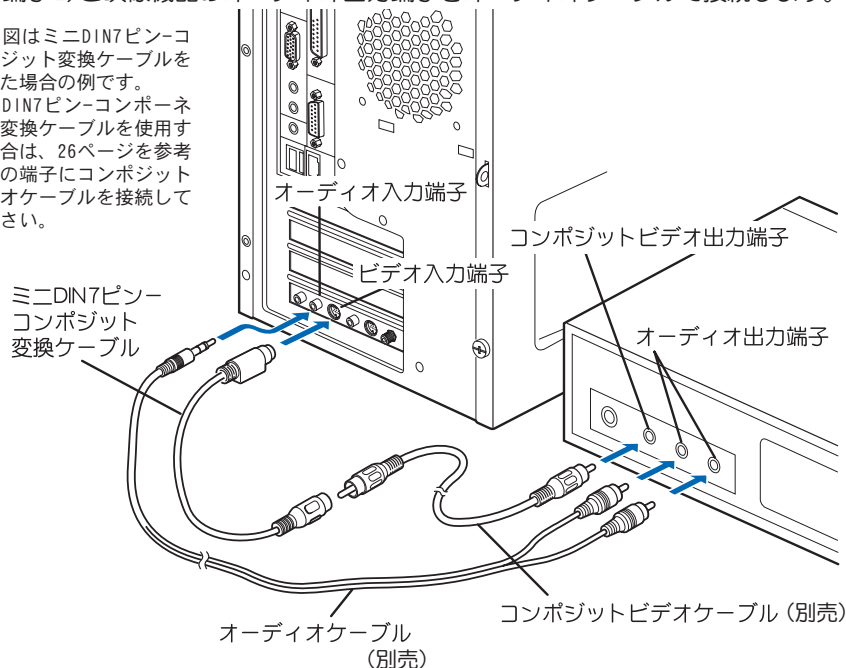
入力端子はペアで使用

同じ映像機器から録画と録音を行う場合には、キャプチャボード本体のVIDEO IN 1（ビデオ入力端子1）とLINE IN 1（オーディオ入力端子1）、VIDEO IN 2（ビデオ入力端子2）とLINE IN 2（オーディオ入力端子2）はペアで使用してください。

コンポーネント接続は、お使いの映像機器によりコンポーネントビデオケーブルまたはD端子/コンポーネントビデオケーブルのどちらかを使用します。お使いの映像機器の出力端子をご確認の上、必要なケーブルをお買い求めください。

■映像機器のコンポーネント出力端子との接続

(1) キャプチャボード本体のVIDEO IN 1（ビデオ入力端子1）にミニDIN7ピン-コンポーネント変換ケーブルを接続します。
(2) ミニDIN7ピン-コンポーネント変換ケーブルとコンポーネントビデオケーブルまたはD端子/コンポーネントビデオケーブルの対応する端子（緑、青、赤）を接続します。
(3) コンポーネントビデオケーブルまたはD端子/コンポーネントビデオケーブルを映像機器のコンポーネント出力端子またはD端子に接続します。
(4) キャプチャボード本体のLINE IN 1（オーディオ入力端子1）と映像機器のオーディオ出力端子をオーディオケーブルで接続します。

■映像機器のコンポジットビデオ出力端子との接続

(1)キャプチャボード本体のVIDEO IN 1（ビデオ入力端子1）と接続する場合は、ミニDIN7ピン-コンポーネント変換ケーブルを接続し、緑色の端子にコンポジットビデオケーブルを接続します（ミニDIN7ピン-コンポジット変換ケーブルは使用できません）。
VIDEO IN 2（ビデオ入力端子2）と接続する場合は、ミニDIN7ピン-コンポジット変換ケーブルを使用し、コンポジットビデオケーブルと接続します。
(2)映像機器のコンポジット出力端子にコンポジットビデオケーブルを接続します。
(3)キャプチャボード本体のLINE IN 1（オーディオ入力端子1）またはLINE IN 2（オーディオ入力端子2）と映像機器のオーディオ出力端子をオーディオケーブルで接続します。

⚠入力端子はペアで使用

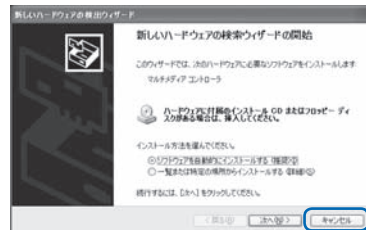
同じ映像機器から録画と録音を行う場合には、キャプチャボード本体のVIDEO IN 1（ビデオ入力端子1）とLINE IN 1（オーディオ入力端子1）、VIDEO IN 2（ビデオ入力端子2）とLINE IN 2（オーディオ入力端子2）はペアで使用してください。

4 パソコンを起動する

本製品の接続が完了したら、パソコンを起動しましょう。

1 パソコンを起動する

パソコンの電源を入れます。
⇒「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。

2 [キャンセル]を選ぶ

[キャンセル]ボタンをクリックします。
⇒「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が閉じます。

第3章

この章では、ドライバとアプリケーションソフトのインストール方法について説明します。

インストール

1 ソフトウェアのインストール

CD-ROM内の[SetupMgr.exe]をダブルクリックすると、本製品に必要なソフトウェアが一括でインストールされます。

インストールされるソフトウェア

CD-ROM内の[SetupMgr]をダブルクリックしてインストールされるソフトウェアは、以下のとおりです。

■ドライバ 必須

キャプチャボード本体をパソコンで動作させるために必要なデバイスドライバです。

■FEATHER2005 必須

キャプチャボードとパソコンを使って、テレビを見る、録画する、再生するために必要なソフトウェアです。

■CiRAgent 任意

別のパソコンや携帯電話を使って、インターネット経由でリモート録画予約を実行するソフトウェアです。
リモート録画予約を使わないお客様は、インストールは不要です。

■NeroVision Express 3 必須

ビデオ編集、オーサリングなどを行う7つのアプリケーションソフトから構成されています。各ソフトウェアの役割は次のとおりです。

●Nero Cover Designer

CDやDVDなどのジャケットやカバーを作成します。

●Nero MediaHome

ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続されたコンピュータ、サーバ上のメディアファイルを共有し、再生することができます。

●Nero PhotoSnap

画像や写真を編集することができます。

●Nero PhotoSnap Viewer

画像や写真を表示することができます。

- NeroVision Express 3のサポート情報は、60ページを参照してください。
- NeroVision Express 3は、キャプチャボード本体を接続しているパソコンにだけしかインストールできません。

●Nero Recode
DVDをダビングできます。
※著作権管理が適用されているファイル、CSSプロテクトのかかったDVDビデオはダビングできません。

●Nero ShowTime
CDやDVDを再生したり、動画を静止画として保存できます。

●NeroVision Express
ビデオ映像の編集、VCDやSVCD、DVDビデオの書き込みができます。

インストールの準備

インストールを始める前に、次の4点を確認してください。

- キャプチャボードの接続を完了させる
- 起動しているすべてのソフトウェアおよび常駐ソフトを終了させる
- システム設定を変更する権限を持つユーザーアカウント（コンピュータの管理者）でログオンする
- コンピュータウイルスの駆除ソフトウェアをインストールしている場合は、一時的に常駐を解除（無効）する（インストール完了後は元の状態に戻してください）

■CRMシリーズリモコン（オプション）と併用する場合は

CRMシリーズリモコンを装着した状態で、本製品をインストールしてください。装着せずにインストールした場合、CRMシリーズリモコンをコントロールするアプリケーションソフト（Canopus RC Manager）は常駐しません。
Canopus RC Managerが常駐しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[スタートアップ]→[RC Manager]の順にクリック
- パソコンの再起動

■以前のバージョンのFEATHERがインストールされている場合は

以前のバージョンのFEATHERをアンインストールしてから、本製品をインストールしてください。アンインストール手順は、「5　アンインストール」（53ページ）を参照してください。

- アンインストール後、「Canopus TV Tuner Products環境クリーナー」を使うと、より効果的です。詳しくは55ページを参照してください。
- 以下の変換ソフトウェアは、FEATHER2005では使用できません。ただし、CD-ROMに収録されている「FEATHER2005用変換キット」（43ページ参照）をインストールすると、変換ソフトウェアが持つcodec機能をFEATHER2005上で使用できるようになります。
    - X Pack
    - X Pack 2
    - X Pack Plus Kit

インストールを始める

■[SetupMgr.exe]の実行

1 CD-ROMをセットする

本製品に付属のCD-ROMを、パソコンにセットしてください。
⇒しばらくするとCD-ROMの内容が表示されます。

2 [SetupMgr.exe]を実行する

画面内の[SetupMgr.exe]をダブルクリックします。

CD-ROMを出さない

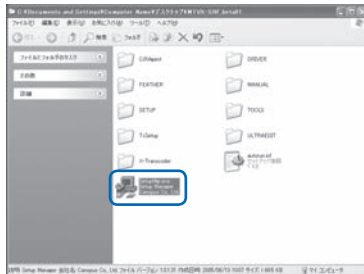
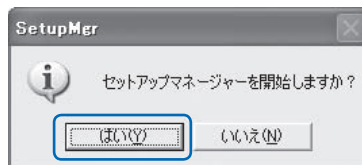
すべてのインストールが終了するまで、CD-ROMをパソコンから取り出さないでください。

画面が表示されない場合

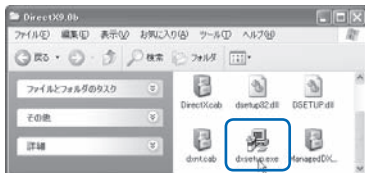
画面が表示されない場合は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]の順にクリックして、表示される「エクスプローラ」画面からCD-ROMを入れたドライブを選択して開いてください。

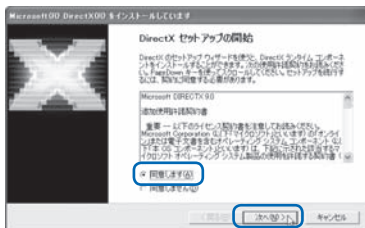
この画面が表示されたら

次の画面が表示された場合、DirectX9.0bをパソコンにインストールする必要があります。

インストール方法は、「DirectXのインストール」(33ページ)を参照してください。

3 [はい]を選ぶ

[はい]ボタンをクリックします。
⇒ドライバのインストールが始まります(34ページ)。

■DirectXのインストール

1 [dxsetup.exe]を実行する

CD-ROM内から[TOOLS]フォルダ→[DirectX9.0b]フォルダ→[dxsetup.exe]の順にダブルクリックします。

2 使用許諾契約に同意する

[同意します]にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。

⚠ 画面を閉じない

一括インストール時には、次の画面が表示されます。
すべてのインストールが終了するまで、画面を閉じないでください。

3 [次へ]を選ぶ

[次へ]ボタンをクリックします。

4 [完了]を選ぶ

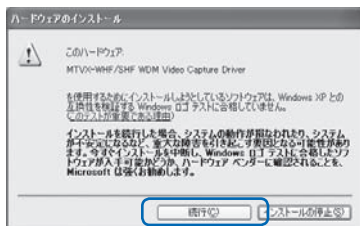
[完了]ボタンをクリックします。
⇒パソコンが再起動します。再起動後は、再度[SetupMgr.exe]を実行してください。

インストール中に、新しいハードウェアの検出ウィザードが起動した場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

■ドライバのインストール

1 [続行]を選ぶ

[続行]ボタンをクリックします。

2 [続行]を選ぶ

[続行]ボタンをクリックします。
⇒ドライバのインストールは終了です。

3 パソコンの再起動

[OK]ボタンをクリックします。
⇒パソコンが再起動します。再起動後は、FEATHER2005のインストールが始まります。

■FEATHER2005のインストール

1 製品シリアル番号の入力

[製品シリアル番号]に6桁-16桁の製品シリアル番号を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

FEATHER2005をインストールしようとしているパソコンは、キャプチャボード本体を接続していますか？

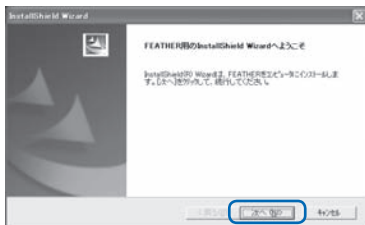
YES

本製品に付属の「MTVX-SHFシリアルナンバーシール」に記載されいてるシリアルナンバーを入力してください。

NO

本製品に付属の「FEATHER2005ネットワーククライアント用ライセンスキーシール」に記載されている「ネットワーククライアントライセンスキー」を入力してください。

入力した製品シリアル番号によって、FEATHER2005で使用できる機能が異なります。詳しくは61ページを参照してください。

2 [次へ]を選ぶ

[次へ]ボタンをクリックします。

3 使用許諾契約に同意する

使用許諾契約をよくお読みの上、同意される場合だけ[はい]ボタンをクリックします。

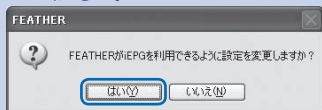
4 プログラムフォルダを登録する

[次へ]ボタンをクリックします。

同意できない場合は

使用許諾契約に同意できない場合は、[いいえ]ボタンをクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。
なお、使用許諾契約に同意できない場合は、FEATHER2005を使用できません。

- プログラムフォルダ名を変更する場合は、「プログラムフォルダ」欄に任意のプログラムフォルダ名を入力してください。
- 既存のフォルダにプログラムを登録したい場合は、「既存のフォルダ」から登録したいフォルダを選択してください。

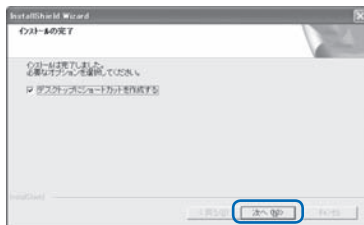
・関連付けしない場合は、チェックを外してください。
・他社製のiEPGを使用するソフトウェアがインストールされている場合は、以下の画面が表示されます。本製品でiEPGを利用した録画予約を行う場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。

デスクトップにショートカットを作成しない場合はチェックを外してください。

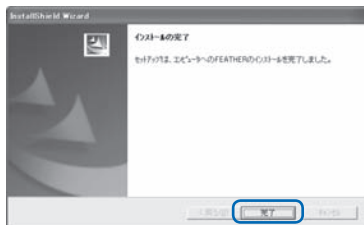
この画面が表示されたら

次の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。

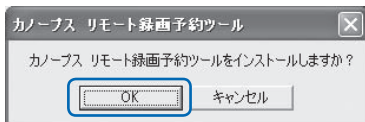
5 拡張子を関連付けする

FEATHER2005に関連付けを行う拡張子をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

6 [次へ]を選ぶ

[次へ]ボタンをクリックします。

7 [完了]を選ぶ

[完了]ボタンをクリックします。
⇒FEATHER2005のインストールは終了です。続いてCiRAgentのインストールが始まります。

■CiRAgentのインストール

1 インストールする/しないを決める

インストールする場合は、[OK]ボタンをクリックします。しない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

2 [次へ]を選ぶ

[次へ]ボタンをクリックします。

3 使用許諾契約に同意する

使用許諾契約をよくお読みの上、同意される場合だけ[はい]ボタンをクリックします。

- CiRAgentをインストールしなくても、通常の録画予約機能や、iEPGを利用した録画予約機能は使用できます。
- 携帯電話や別のパソコンを使った、リモート録画予約機能を使いたい場合は、インストールしてください。
- CiRAgentを使わない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- [キャンセル]ボタンをクリックすると、「NeroVision Express 3のインストール」(41ページ)へ進みます。

同意できない場合は

使用許諾契約に同意できない場合は、[いいえ]ボタンをクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。
なお、使用許諾契約に同意できない場合は、CiRAgentを使用できません。

インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]ボタンをクリックして、フォルダを選択してください。

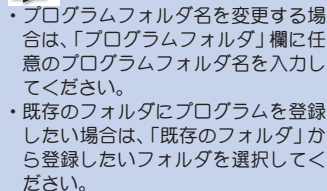
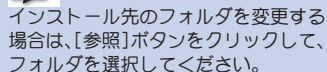
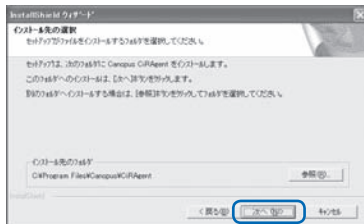
・プログラムフォルダ名を変更する場合は、「プログラムフォルダ」欄に任意のプログラムフォルダ名を入力してください。
・既存のフォルダにプログラムを登録したい場合は、「既存のフォルダ」から登録したいフォルダを選択してください。

4 インストール先を選ぶ

[次へ]ボタンをクリックします。

5 プログラムフォルダを登録する

[次へ]ボタンをクリックします。

6 [完了]を選ぶ

[完了]ボタンをクリックします。
⇒CiRAgentのインストールは終了です。続いてNeroVision Express 3のインストールが始まります。

■NeroVision Express 3のインストール

1 インストール終了後、[OK]を選ぶ

[OK]ボタンをクリックします。
⇒NeroVision Express 3のインストールは終了です。
以上ですべてのインストールは終了です。

- NeroVision Express 3の使い方は、ユーザーズマニュアル(PDF形式)を参照してください。ユーザーズマニュアルの表示方法は、52ページを参照してください。
- NeroVision Express 3のサポート情報は、60ページを参照してください。

2 FEATHER2005のオプションソフト

FEATHER2005は機能を拡張するためのオプションソフトが用意されています。61ページの「FEATHER2005の機能一覧」をご参照の上、オプションソフトをお買い求めください。

■オプションソフトのライセンスについて

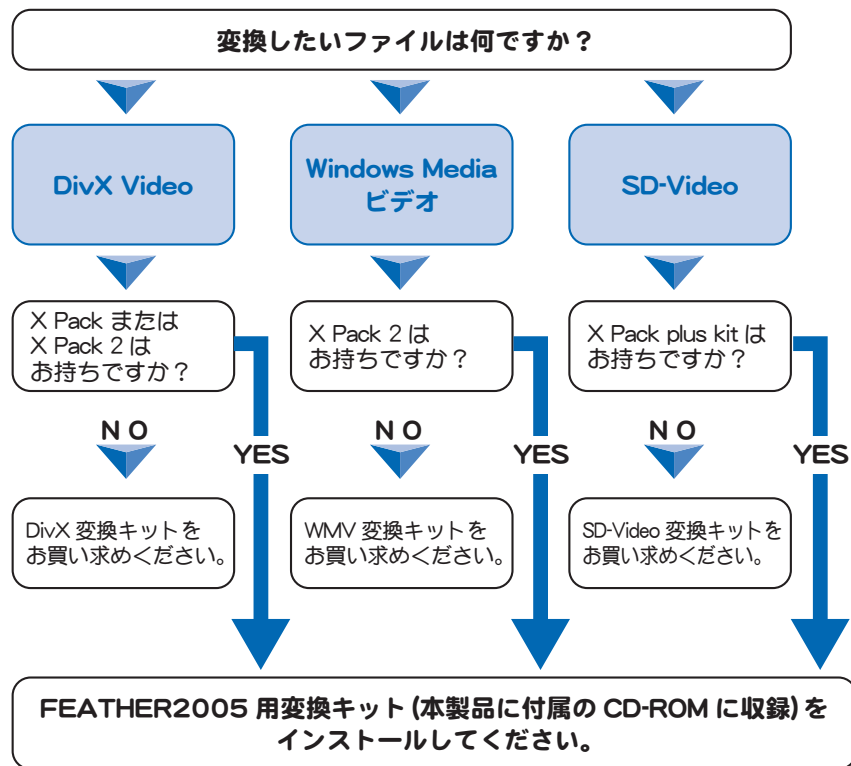
オプションソフトは1本につき、1つのライセンスしか用意されていません。もし、FEATHERを2台のパソコンにインストールされているお客様が両方にオプションソフトをインストールしたい場合は、オプションソフトを2本用意してください。

■オプションソフトウェアの購入方法

FEATHER2005用のオプションソフトウェアを以下のショッピングサイトでダウンロード購入できます。

Canopus Direct Shop
http://www.canopusstyle.com/

■オプションソフトの購入ガイド

オプションソフトの中でも動画の変換ソフトなどは、お客様が以前に当社製品を使用していたなどの理由により、ご購入が不要な場合があります。下記のフローチャートをご参照の上、ご購入の必要・不要を確認してください。

FEATHER2005用変換キット

FEATHER2005用変換キットのインストールは、CD-ROM内の[TxSetup]フォルダにある[TxSetup.exe]を実行してください。

シリアル番号の用意

FEATHER2005用変換キットのインストール時には、変換ソフトウェアのシリアル番号の入力が必要です。お手元に変換ソフトウェアのシリアル番号を用意してください。

3 インストール後の設定

ソフトウェアのインストール後、必要に応じて、Windowsのログオンパスワードおよび CiRAgentの設定を行ってください。

ログオンパスワードを設定済みのお客様は、ログオンパスワードの設定は不要です。

Windowsのログオンパスワード設定

FEATHERの録画予約機能を使うには、Windowsのログオンパスワードを設定します。

1 「ユーザーアカウント」を呼び出す

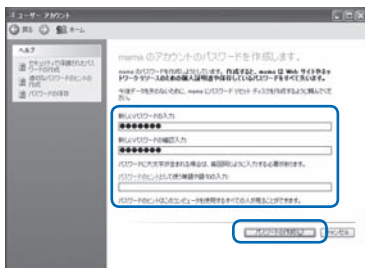
[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックします。
⇒「ユーザーアカウント」画面が表示されます。

2 ユーザーアカウントを選ぶ

ログオンパスワードを設定したいユーザーアカウントをクリックします。

3 [パスワードを作成する]を選ぶ

[パスワードを作成する]をクリックします。

4 パスワードを入力する

画面の指示にしたがって、パスワードを入力します。入力後は[パスワードの作成]ボタンをクリックします。

5 「ユーザーアカウント」を閉じる

「ユーザーアカウント」画面の[閉じる]ボタンをクリックします。
⇒以上でWindowsのログオンパスワード設定は完了です。

パスワードの取り扱い

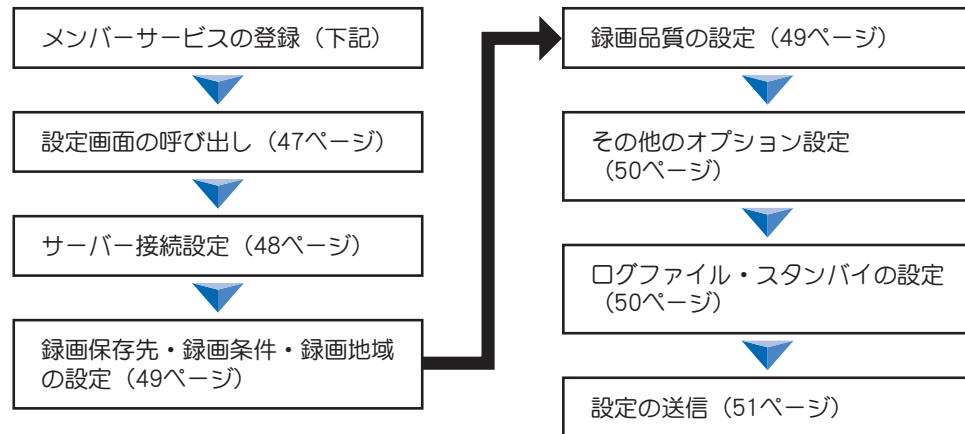
・入力したパスワードは、忘れないようにメモをとってください。パスワードを忘れてしまうと、録画予約ができなくなる恐れがあります。
・メモをとったパスワードは、第三者に知られないように管理してください。

「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」と表示されたら、[はい、個人用にします]をクリックします。

CiRAgentの設定

CiRAgentは、「テレビ王国」のリモート録画予約サービスを利用するためのアプリケーションソフトです。
リモート録画予約を実行するには、事前にCiRAgentの設定が必要です。

■設定の流れ

CiRAgentの設定は次の流れで実行してください。

■メンバーサービスの登録

インターネット上で「テレビ王国」（http://www.so-net.ne.jp/tv/）へアクセスし、メンバーサービスの登録、およびiCommand用メールアドレスの登録を行います。ユーザー登録の手順は、「テレビ王国」ホームページのトップページにあるメンバーサービスの「新規登録」をご覧ください。

- 通常の録画予約や、iEPGを利用した録画予約には、CiRAgentの設定は不要です。
- リモート録画予約サービスを利用する場合は、CiRAgentの設定が必要です。

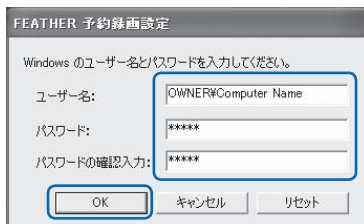
ｉモード使用時のURLは、「http://imode.so-net.ne.jp/tv/」です。

URLは予告無く変更されることがあります。

■設定画面の呼び出し

1 CiRAgentを起動する

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Canopus CiRAgent]→[Canopus CiRAgent設定]の順にクリックします。

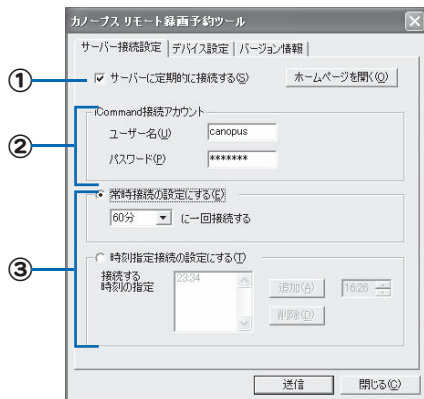
2 ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

⇒「カノープスリモート録画予約ツール」画面が表示されます。

録画予約の実行は、管理者権限のユーザー名が必要です。

- Windowsのログオンパスワードを設定していない場合は、44ページを参照して、ログオンパスワードを設定してください。
- 次の場合は、手順2の画面が表示されません。
  - 一度ユーザー名とパスワードを入力した場合
  - FEATHER2005で録画予約を行った場合
- Windowsのログオンパスワードを変更した場合は、再度ユーザー名とパスワードの入力が必要です。

■サーバー接続設定

[サーバー接続設定]タブから、以下の設定を行います。

①[サーバーに定期的に接続する]にチェックを入れます。

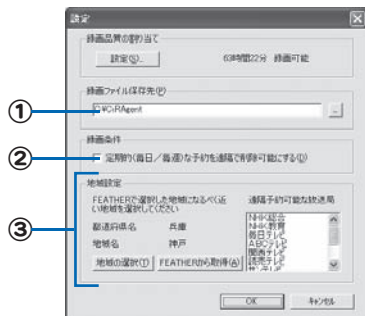
②iCommand接続アカウントにテレビ王国で登録したメンバーIDおよびパスワードを入力します。

③「テレビ王国」のサーバーへの接続方法を選択します。希望する接続方法にチェックを入れます。

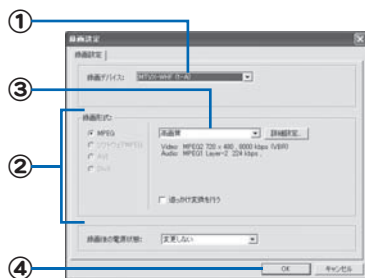
- 常時接続の設定にする
  設定した間隔で接続します。
- 時間指定接続の設定にする
  接続する時間を指定します。時刻入力ボックスに接続したい時間を指定して、[追加]ボタンをクリックします。指定した時間を削除する場合は、時間を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

[時間指定接続の設定にする]を選択した場合、0分台には「0」を指定できません。
(例：「23：30」のような指定はできません)

■録画保存先・録画条件・録画地域の設定

[デバイス設定]タブから[デバイス設定]ボタンをクリックして、以下の設定を行います。

①必要に応じて、録画予約したファイルの保存先をフルパスで入力します。
②定期的な予約をリモート操作で削除可能にしたい場合は、チェックを入れます。
③録画地域を設定します。
・地域の選択
ボタンをクリックすると表示されるリストから、録画地域を選択します。選択できる地域は、本製品で選択できる地域とは異なります。リストにない地域の場合は、近い地域を選択します。
・FEATHERから取得
ボタンをクリックすると、FEATHER2005で行った地域設定から、近い地域を設定します。

■録画品質の設定

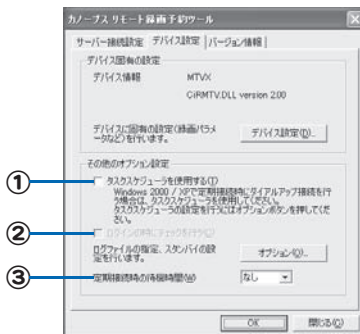
[デバイス設定]タブから[デバイス設定]ボタン→[設定]ボタンの順にクリックして、以下の設定を行います。

①録画デバイスを選択します。
②希望する録画形式にチェックを入れます。
③必要に応じて、一覧から録画品質を選択します。
④設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックします。

地域設定は、FEATHER2005で地域設定を行った後に、[FEATHERから取得]ボタンをクリックして行うことを推奨します。

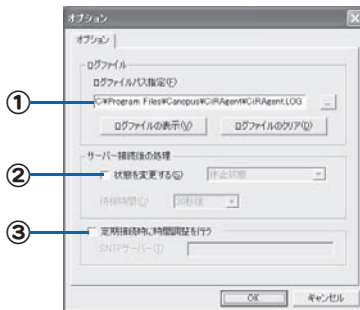
テレビ王国のサーバー側に情報が残っている状態で、地域を変更した場合、一時的に処理できなくなることがあります。必ず、サーバー側に情報が残っていないことを確認してから変更してください。

[詳細設定]ボタンをクリックすると、さらに細かく録画品質を設定できます。

■その他のオプション設定

[デバイス設定]タブから、以下の設定を行います。

①ダイヤルアップ接続でテレビ王国に接続する場合は、チェックを入れてください。CiRAgentの定期的な接続には、リモート録画予約サービスとして動作します。
②タスクスケジューラを使用する場合、Windowsログイン時にテレビ王国へ接続します。この接続を行わない場合は、再起動時にテレビ王国から入手できる「次回接続時間」の情報が古いままになります。この情報は、一度サーバーへの接続が行われたときに更新されます。なお、タスクスケジューラを使用しない場合は、サービス起動後数分以内に自動的に接続します。
③定期接続時間までの待機時間を設定します。

■ログファイル・スタンバイの設定

[デバイス設定]タブから[オプション]ボタンをクリックして、以下の設定を行います。

①必要に応じて、ログファイルの保存先をフルパスで入力します。
②テレビ王国に接続した後の電源状態を設定する場合は、チェックを入れます。
③テレビ王国に接続した時に、パソコンの時計を調整する場合は、チェックを入れます。パソコンの時計を調整する場合は、時刻調整用のSNTPサーバーのアドレスを入力してください。

タスクスケジューラを使用する場合は、[オプション]ボタン→[タスクスケジューラの設定]タブの順にクリックして、設定用のユーザー名とパスワードを入力してください。

■設定の送信

「カノープスリモート録画予約ツール」画面の[送信]ボタンをクリックします。設定した情報が「テレビ王国」のサーバーへ送られます。

設定の送信前に

設定の送信前に、パソコンをインターネットへ接続してください。

設定後は、正しく予約・録画できるかをテストしてください。

4 ソフトウェアの操作方法

各ソフトウェアの操作方法は、本製品付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(PDF形式)、またはヘルプを参照してください。

マニュアル(PDF形式)

■FEATHER2005

CD-ROM内の[Manual]フォルダ→[FEATHER2005リファレンスマニュアル.pdf]の順にダブルクリックしてください。

■NeroVision Express 3

Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Nero]→[ユーザーズガイド]の順にクリックし、ご覧になりたいマニュアルをクリックします。

ヘルプ

■Nero Cover Designer

操作画面から、メニューバーの[ヘルプ]へ進み、[ヘルプトピック]をクリックします。

■Nero Recode

Windowsの[マイコンピュータ]→[ローカルディスク (C:)]→[Program Files]→[Ahead]→[Nero Recode]→[Nero Recode_jpn.chm]の順にダブルクリックします。

■Nero ShowTime

操作パネル上部にある[?]をクリックします。

■NeroVision Express

操作画面左下にある[?]をクリックし、表示されるメニューから[NeroVision Expressヘルプ]をクリックします。

PDFをご覧になるには

PDFをご覧になるには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、CD-ROM内の[TOOLS]フォルダ→[AdobeReader]フォルダ→[AdbeRdr60_jpn_full.exe]の順にダブルクリックしてください。Adobe Readerがインストールされます。

各アプリケーションソフトがアクティブな状態で、キーボードの[F1]キーを押すと、それぞれのヘルプが表示されます。
(Nero Recodeを除く)

日本語化されていないアプリケーションが一部含まれています。使用方法については、60ページのNeroVision Express 3のサポート情報を参照し、サポート窓口にお問合せください。

5 アンインストール

FEATHERのアンインストール（ソフトウェアの削除）手順を説明します。

アンインストールを始める前に

アンインストールを始める前に、次の2点を確認してください。

- 起動しているすべてのソフトウェアおよび常駐ソフトを終了させる
- システム設定を変更する権限を持つユーザーアカウント（コンピュータの管理者）でログオンする

アンインストールの実行

1 「プログラムの追加と削除」を呼び出す

[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]の順にクリックします。
⇒「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

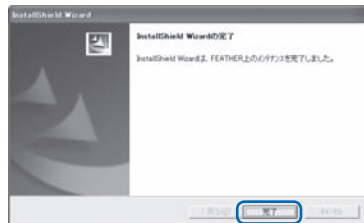
2 アンインストールしたいアプリケーションソフトを選ぶ

「プログラムの追加と削除」画面に表示されている一覧からアンインストールしたいアプリケーションソフトをクリックして、[変更と削除]ボタンをクリックします。
※ここでは[Canopus FEATHER]を選択します。
⇒ファイル削除確認のメッセージが表示されます。

アンインストールを実行しても録画予約の内容は残りますが、録画は実行されません。

3 アンインストールを始める

[OK]ボタンをクリックします。
⇒アンインストールが始まります。

4 アンインストールを完了する

[完了]ボタンをクリックします。

5 「プログラムの追加と削除」を閉じる

「プログラムの追加と削除」画面の[閉じる]ボタンをクリックします。
⇒アンインストールは完了です。

アンインストール中に「共有ファイルの検出」画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。

■アンインストール後、パソコンの動作が不安定な場合は・・・

Windows環境では、まれにアンインストールされない情報が、動作不安定等の状況を引き起こすことがあります。
この様な場合は、「Canopus TV Tuner Products 環境クリーナー」を使って、特定の製品に影響を与える情報をWindowsから消去することで、環境を復旧できる場合があります。
動作不安定等で、Windows の再インストールをご検討の場合は、「Canopus TV Tuner Products 環境クリーナー」を使用して環境復旧の可否を試してください。
「Canopus TV Tuner Products 環境クリーナー」の使用は、CD-ROM内の[TOOLS]フォルダ→[CTVClean]フォルダ→[CTVClean.exe]の順にダブルクリックしてください。

詳しくは、CD-ROM内の[TOOLS]フォルダ→[CTVClean]フォルダ→[readme.txt]の順にダブルクリックしてください。

アンインストール前に使わない

FEATHER2005をアンインストールする前に、「Canopus TV Tuner Products環境クリーナー」を使わないでください。パソコンの動作が不安定になります。

APPENDIX

1 ハードウェア仕様

本製品のハードウェアに関する仕様です。

TV受信部		NTSC（日本地域対応）、音声多重 / ステレオ放送対応
	受信可能チャンネル	VHF 1 ～ 12、UHF 13 ～ 62、CATV C13 ～ C35 ※専用の受信機等が必要となるCATVは受信できません。
	音声	ステレオ、音声多重（EIAJ方式）
	入力端子	F型コネクタ×1
ビデオ入力部	ビデオ入力信号	NTSC ※不正なビデオ信号（劣化したビデオテープを再生した場合、長時間使用したビデオデッキで再生した場合など）は録画できません。 ※コピープロテクトされているビデオ信号（CGMS-Aを除く）を録画することはできません。
	ビデオ入力端子1	ミニDIN7ピン端子×1 ※Sビデオ / コンポジット / コンポーネントから選択
	ビデオ入力端子2	ミニDIN7ピン端子×1 ※Sビデオ / コンポジット
	入力映像調整	明るさ、コントラスト、ガンマ補正、シャープネス、色合い（コンポーネント入力時を除く）、色の濃さ（エンコード結果に反映されます）
オーディオ入出力部	オーディオ入力	3.5 Φステレオミニジャック×2（ステレオ2系統）
	オーディオ出力	3.5 Φステレオミニジャックまたはサウンドカード内部接続用コネクタ ※どちらか一方の使用となります。
	録音レベル	-34.5db ～ +12db

<table>
<tr><td rowspan="9">MPEG
エンコード部</td><td>解像度</td><td>720×480、640×480、480×480、352×480、352×240</td></tr>
<tr><td>ビデオビットレート</td><td>MPEG2 0.5 ～ 15Mbps（VBR/CBR）/ 25Mbps（I Frameのみ）
※VBRのビットレート上限は、設定値の1.5倍まで</td></tr>
<tr><td>Pピクチャ枚数</td><td>0 ～ 5</td></tr>
<tr><td>周期</td><td>1 ～ 4</td></tr>
<tr><td>フレームレート</td><td>29.97fps</td></tr>
<tr><td>オーディオビットレート</td><td>192、224、256、320、384kbps</td></tr>
<tr><td>サンプリング周波数</td><td>48kHz</td></tr>
<tr><td>オーディオ圧縮</td><td>MPEG1 Audio Layer2、リニアPCM</td></tr>
<tr><td>多重化</td><td>MPEG2 プログラムストリーム</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電流（最大）</td><td>＋5V 1.5A、＋12V 480mA、－12V 50mA</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温度範囲</td><td>5 ～ 40℃</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用資源</td><td>割り込み</td><td>IRQを1つ</td></tr>
<tr><td>メモリ空間</td><td>1.07Mバイト分の領域</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイズ</td><td>キャプチャボード
151mm（長さ）×102mm（高さ）（突起物含まず）</td></tr>
</table>

2 NeroVision Express 3のサポート情報

NeroVision Express 3についてのお問合せは、下記窓口にて承っております。カノープス株式会社 カスタマーサポートおよびテクニカルサポートでは、NeroVision Express 3についてのサポートを承っておりません。

■問合せ先名：ライブドアサポートセンター

E-mail　：nero@pro-g.com
電話　：03-5468-0353
［電話サポートの受付日時］
受付日　：土日祝日、(年末年始、夏期)指定休日を除く平日
受付時間：10:30 ～ 13:30、14:30 ～ 18:00

3 FEATHER2005の機能一覧

モード	機能	製品のシリアルナンバーでインストール	ネットワーククライアント用ライセンスキーでインストール
TVモード	TV録画	○	○
	TV視聴	○	○
	外部自動録画	○	○
	デジタル放送対応	○	○
	録画予約	○	○
	インターネット録画予約	○	○
	EPG録画予約	○	○
	週間EPG録画予約	EPG拡張キットが必要	EPG拡張キットが必要
	リモート予約	○	×
	おまかせ録画	おまかせ録画キットが必要	おまかせ録画キットが必要
Videoモード	TVモードで録画した番組の再生	○	○
	30倍速マッハサーチ	○	○
	MPEG4再生	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	MPEG4作成	MPEG4作成キットが必要	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	DivX再生	codecのインストールが必要	codecのインストールが必要
	DivX作成	DivX変換キットが必要	DivX変換キットが必要
	SD-Video再生	codecのインストールが必要	codecのインストールが必要
	SD-Video作成	SD-Video変換キットが必要	SD-Video変換キットが必要
	WMV再生	○	○

モード	機能	製品のシリアルナンバーでインストール	ネットワーククライアント用ライセンスキーでインストール
Videoモード	WMV作成	WMV変換キットが必要	WMV変換キットが必要
	DVDビデオ作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	データDVD・CDの作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	CMカット	CMカット拡張キットが必要	CMカット拡張キットが必要
CD、DVDモード	オーディオCDの再生	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	DVDビデオの再生	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	オーディオCDのWAV録音	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	オーディオCDのWMA録音	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	オーディオCDのAAC録音	MPEG4作成キットが必要	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	曲名の表示（CDDB）	CDDB対応キットが必要	CDDB対応キットが必要
Musicモード	WAV、WMA、MP3再生	○	○
	AAC再生	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	WAV形式への変換	○	○
	WMA形式への変換	○	○
	MP3形式への変換	DivX変換キットが必要	DivX変換キットが必要
	AAC形式への変換	MPEG4作成キットが必要	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	音楽CD作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	データDVD・CDの作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	プレイリスト機能	○	○

モード	機能	製品のシリアルナンバーでインストール	ネットワーククライアント用ライセンスキーでインストール
Photoモード	静止画スライドショー	○	○
	音楽付き静止画スライドショー	○	○
	アルバム機能	○	○
	印刷	○	○
	スライドショーDVD作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
Networkモード	ライブテレビ表示	○	○
	録画した番組の再生	○	○
	静止画の再生	○	○
	音楽の再生	○	○
	サーバーへの録画予約	予約一覧画面時に可能	予約一覧画面時に可能
	サーバーへのEPG録画予約	予約一覧画面時に可能	予約一覧画面時に可能
	DVDビデオの作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	データDVD・CDの作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	音楽CDの作成	○	MPEG4＋DVD作成キットが必要
	写真の印刷	○	○
	簡単録画機能	○	○